

アメリカンカントリースタイルの 広々LDK

①



LDと洋室を繋げ、キッチンオープン対面に。
壁にはホワイトウッドのハネリングでアクセントを。

②



既設電話台は廃材のダイニングテーブルを
カットしてリメイク。ドアと扉は既設に塗装。

③



オーク無垢フローリングに合わせ換をホワイトに、枠は塗装

④



テーブルを再利用したカウンター

⑤



木製扉でカントリー調キッチン

⑥



押入れ天袋をカラリに

⑦



玄関ホール床もオーク無垢材

⑧



パイン材で造作した玄関収納

平面図



既設平面図



リフォーム後平面図

DATA

- 所在地: 愛知県岩倉市
- 建て方: 集合住宅
- 構造: 鉄筋コンクリート
- 階数: 1階
- 延床面積: 91.7㎡
- リフォーム面積: 80.0㎡
- 築年数: 24年
- 工事費用: 540万
- 工事期間: 60日
- 工事完成年月: H28年5月
- 家族構成: 4名
- 年齢: 50代夫婦, 子供2人

BEFORE

- A: 以前のLDは細長く使いにくく、キッチン前には洋室があり閉鎖的
- B: 既設の電話台の上にパインのテーブルを重ね、扉を塗装してリメイク



以前LDの隣には洋室があり、LDが狭かった



既設の電話台をリメイク

■ご要望と提案

<お悩みその①>

キッチンが閉鎖的で奥様が調理中に孤独を感じる。LDKが狭い。
→キッチンの位置はそのまま、隣接する洋室を無くしてLDKを広くし、お庭の見える開放的な対面キッチンに。

<お悩みその②>

奥様がパイン材の家具がお好きなので、それらが似合うナチュラルな空間にしたい。和室の襖など、違和感のないようにしたい。LDKに収納スペースが欲しい。
→無垢オークフローリングを床に、壁の一部にはホワイトウッドのパネリング。ナチュラルな雰囲気に合うように、CL扉もホワイトオーク調、押入れの襖も白で統一感を出し、枠は塗装。

<お悩みその③>

納戸に窓が無く、常に湿気がこもるのが気になっていた。北側の部屋は湿気と結露がひどく、対策をしたい。
→隣接する和室押入れから納戸に通風するプランをご提案。
→北側洋室の窓には、内窓を設置し、結露対策と寒さ対策を。

■リフォームテーマ

『アメリカンカントリースタイルの広々LDK』

■特に工夫したポイント

①低コストでイメージを変えた電話台

雰囲気に合わないという既設の電話台に、廃棄する予定だったパイン材のダイニングテーブルを半分にカットして再利用。扉とリビングドアはライトブルーに塗装。ドア取手や収納扉のつまみを取り替え、凹の壁面にホワイトウッドのパネリングを張り、見違えるような温かみのある電話台に変身。
(写真②参照)

②再利用したカウンター

パイン材ダイニングテーブルのもう半分は、キッチン前のカウンターとして引出しまで再利用。カウンター正面の壁にはホワイトのモザイクタイルを張り、まるでカフェのような可愛いカウンターに。
(写真④参照)

③天袋をガラリにして風を通す

納戸にこもる湿気対策として、隣接する和室の押入れの天袋のひとつをガラリに。そこは荷物を極力置かないようにして頂き、納戸の上部の同じ位置に開口を設置。当初は、効果のある壁材や、換気扇設置の案もあったが、和室の窓をこまめに開けるだけで納戸まで風が通るようになり、コストを抑えた湿気対策となった。
(写真⑥参照)